2025年4月1日 保障開始契約より

学資費用等の支払対象期間に関する 商品改定・保険料改定を行います

就学費用保障 保険とは

扶養者が病気やケガで死亡、またはケガで重度後遺障がいを負った結果、学牛が扶養されなくなった場合(保険 金支払事由)、その翌日から大学の卒業予定年月まで(支払対象期間)に学生が負担する学資費用等を保険金と してお支払します。

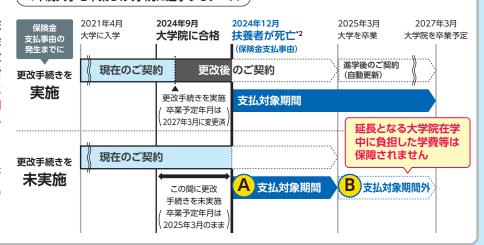
この就学費用保障保険について、2025年4月1日保障開始契約より、以下の商品改定を実施します。

改定前(2025年3月31日以前)

大学院への進学や留年等を理由に、在 学期間の延長が確定した後に保険金 支払事由が発生した場合、事前に更改 手続き*1を実施していないと、支払対 象期間は大学の卒業予定年月までと なります(右図A)。そのため、延長期間 中に負担した学費は保障されません でした(右図B)。

- *1 加入者証に記載の卒業予定年月を延長するため、 保険期間中に現在の契約を解約し、同時に新た に契約を締結する手続きを指します。
- *2 保険金支払事由発生日付でご契約は解約となり ますが、学資費用等の保障はその後も続きます。

4年制大学を卒業し、大学院に進学するケース



改定後(2025年4月1日以降)

在学期間の延長確定後、同じ年度中に 保険金支払事由が発生した場合、改定 後も事前に更改手続き*1が原則必要で すが、万が一手続きが間に合わなかっ たとしても、保険金請求時に所定の書 類*3を提出することで、支払対象期間 は大学の卒業予定年月から1~2年延 長*4されます(右図C)。

更改手続きを 未実施

2025年4月 2028年9月 2028年12月 2029年3月 大学に入学 大学院に合格 扶養者が死亡*2 大学を卒業 (保険金支払事由) 進学の場合、支払対象 期間が2年延長 発生までに 進学以外(留年等)の場合は 1年延長 現在のご契約 支払対象期間 支払対象期間 この間に更改 (延長*3) 手続きを未実施 保険金請求時に所定の書類 卒業予定年月は を提出することで、支払対象期間が 2029年3月のまま 右記Cの通り延長されます

*3 保険金請求時には「在学期間の延長事由とその確定日を証明する 書類1の提出が必要となります。

*4 対象となる在学期間の延長事由は①進学、②留年(休学を理由とするものを含みます)、③編入学・転学または 転籍です。支払対象期間は加入者証記載の卒業予定年月から①の場合は2年、②・③の場合は1年延長されます。



- ■特に以下(1)~(3)の場合には、延長事中の確定後、速やかに更改手続きにて卒業予定年月を再設定(延長)ください。 更改手続きが未実施の場合、保険金請求時に所定の書類を提出しても、(1)・(2)の場合には支払対象期間が延長され ない恐れがあります。(3)の場合は在学期間に対し支払対象期間の延長が不足するため、十分な保障を受けられません。
 - (1) 最終学年以外の学年で進級できず、在学期間が延長となる場合(2年生から3年生に進級できない場合等) (2) 進学・留年等が確定する前(合格発表や成績確定日前)に在学期間を延長する予定が既にある場合
 - (3)進学によって延長となる在学期間が2年より長くなる場合(在学期間3年の法科大学院等)等
- 大学院進学や留年等により在学期間が延び たが、同じ年度中に保険金支払事由が発生 せず、大学の卒業予定年月(満期)を迎える 場合、翌年度以降も保障を受けるにはご契約 の更新手続きが必要となります。

上記商品改定に伴い、2025年4月1日 以降保障開始契約から、保険料が変更 となります。卒業までの在学期間に応 じた1年間の保険料(1口あたり)は右 表の通りです。

卒業までの 在学期間	年間保険料 (1口あたり)	改 定 前 との差額
6年	3,870円	±0円
5年	3,290円	+50円
4年	2,610円	+10円

卒業までの 在学期間	年間保険料 (1口あたり)	以 定 削 との差額
3年	1,930円	+20円
2年	1,210円	+10円
1年	530円	+80円

2025年4月に4年制学部の 2年生になる場合

2031年3月

大学院を卒業予定

卒業までの在学期間は3年 年間保険料: 1,930円

お問い合わせ先

コープ共済センター 0120-16-9431

受付時間 9:00~18:00 月~十(祝日含む) ※年末年始はお休みとなります(12/31~1/3) ※このチラシは就学費用保障保険の概要をご説明したものです。ご加入の際は 「CO·OP学生総合共済」パンフレットの重要事項説明書を必ずご一読ください。 ご不明点があれば、左記のお問い合わせ先までご連絡ください。



https://kyosai.univcoop.or.jp/group/pdf/group_pamph01.pdf

